

EM家庭菜園講座 VOL.8

比嘉教授が自ら実証！EMによる超効率・効果的な栽培術。



比嘉流ならではの！！
とことん省力、たんまり収穫

小さなスペースでも、
EMをふんだんに使えば、
家庭菜園がどんどん楽しめる！



作業労力と除草作業を省力！

比嘉教授の実践農園「青空宮殿」では、EMをフル活用して不耕起栽培が実践されています。跨いで動けるように畝幅は30cm程。畝といっても、山型に土を盛り上げてはなりません。作業の通路には、除草の役割も兼ねて、使い古しの絨毯を敷き、それ以外のところを畝として作物を植えているだけなのです。小さなスペースでも、毎週近所に配りきれないほどに収穫ができる畑です。



絨毯を敷いた当初は、畑とのミスマッチで違和感がある状態でしたが、年月を追うごとに環境になじんできています。



種代と育苗管理を省力！

空心菜やツルムラサキは挿木で増やすことができます。どんどん増やして栽培することで、雑草が生える隙間をなくし、小さなスペースを有効活用します。



空心菜を収穫する比嘉教授。朝、収穫をした後だったので、あまり収穫できないと思いましたが、摘んでいくとこの通り！毎週20束（1束1家族）ほどを近所におすそ分けしたり、EMマート浦添店などに来店されるお客様にサービスしたりするそうです。



青空宮殿で穫れた、たくさんの収穫物

ツルムラサキは大きな葉っぱを4～5枚束にしたり、ツルごと収穫して配布します。ビタミンCやカロチン、鉄分やカルシウムなどを多く含んでいて、健康にもgood!



取材に同行した株式会社EM研究機構職員。デモンストレーションがてら収穫した空心菜とツルムラサキを比嘉教授からいただいて、ラッキー☆



EM開発者・農学博士
比嘉 照夫 教授

1941年、沖縄県生まれ。EMの開発者。農学博士。名桜大学附属国際EM技術研究所所長。琉球大学名誉教授。アジア・太平洋自然農業ネットワーク会長、(財)自然農法国際研究開発センター理事、NPO法人地球環境・共生ネットワーク会長、農林水産省・国土交通省提唱「全国花のまちづくりコンクール」審査委員長。著書に「地球を救う大変革」「甦る未来」「新・地球を救う大変革」（サンマーク出版）、「新世紀EM環境革命」（総合ユニコム）、「微生物の農業利用と環境保全」（農文協）など多数。

その他のエリアでは、パパヤ、バナナが立派に育っていました。「台風が来て木がなぎ倒されなければ、おいしい夏のボーナスだよ」と比嘉教授。



こんなに
いっぱい
とれたよ♪

